



研究キーワード メソ気象学, 気象観測, 生気象学, 気象防災, 自然地理学

重田 祥範

准教授

SHIGETA, Yoshinori

所属…環境学部 環境学科 大学院 環境経営研究科 環境学専攻

■専門分野 気象学, 気象防災学, 自然地理学
現在の研究テーマ

- ・都市域における大気環境と熱中症リスクの評価
- ・盆地霧の発生・消滅メカニズムの解明と予測
- ・気象情報の「見える化」と防災への活用

論文

- ・ Relationship between long-term changes in the number of fog days and SPM concentration across Japan Yuka IMAEDA, Yoshinori SHIGETA Journal of Environmental Information Science Vol.2025, No.2 51-59.
- ・ Spatial Characteristics of Urban and Suburban Thermal Environments Based on Wet-Bulb Globe Temperature in an Inland Basin City Yoshinori SHIGETA, Yuki OGIHARA Journal of Environmental Information Science Vol.2025, No.2 60-73.
- ・ 京都府福知山盆地で発生する霧の季節変化と気温変化 今枝 侑香, 重田 祥範 環境情報科学学術研究論文集 39 266-271 2025.
- ・ 猛暑期の鳥取県で観測された気温と海岸距離の関係性 重田 祥範, 大谷 一貴 環境情報科学学術研究論文集 39 272-277 2025.
- ・ 霧を伴う局地風「脇川あらし」のAI予報モデルの開発 工藤 陽花, 箱崎 又一, 大橋 唯太, 重田 祥範 日本気象学会, 天気 72(9) 431-443 2025.

招待講演

- ・ 雲の川が流れる朝 - 円山川あらしの正体 - 重田 祥範 山陰海岸ジオパークの気象・地形・日本海のかかわりを知るための講演会, 2026年3月

■所属学会 日本気象学会, 日本地理学会, 日本生気象学会, 日本風工学会, 日本大気電気学会

■資格 中学校教諭専修免許状 (理科), 高等学校教諭専修免許状 (理科), 健康気象アドバイザー

■取得学位 博士 (理学) (岡山大学)

略歴

- 2011年3月 岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程 修了
- 2011年4月 立正大学地球環境科学部環境システム学科 助教 (～2015年3月)
- 2015年4月 公立鳥取環境大学環境学部環境学科 講師 (～2017年3月)
- 2017年4月 公立鳥取環境大学環境学部環境学科 准教授
- 2017年4月 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻 准教授
- 2025年5月 JAXA (宇宙航空研究開発機構) 航空技術部門 客員研究員

■主な担当科目 気象学概論, 地球システム学, バイオクリマ入門, 地学実験

shigeta@kankyo-u.ac.jp

《研究内容の紹介・授業の特徴等》

「なぜ雲海ができるのか」「なぜ局地的な豪雨が発生するのか」といった身近な現象を、観測やデータ解析を通して研究しています。授業では、天気と防災のつながりを楽しく学びながら、自然を科学的に読み解く力を身につけます。



気象観測機器の設置



上空の風を測る